

H 1 5 事業評価中間公表への市民意見検討経過調書

対象事業名	小学校教育用コンピュータ整備事業	事業CD	T 8 8
担当部課	生涯学習部管理課	部長氏名	樋口 幸廣

意見の要旨	最終評価への 反映状況	左の理由	関係協議部署
「5事業の成果」の中で、14年度のコンピュータの利用実績が出ておらず、また13年度の実績は12年度を下回っている。目標値の設定がないと成果を判断することは難しいのではないか。	今後は反映できるよう努める。	事業実施にあたり、目標値の設定は当然にして必要。学習指導の時限として活用している。	事業評価会議での検討(1/15)  市長・助役ヒアリング(1/28)
小学校でローマ字を習うが、コンピュータへのローマ字入力に習っている学年から実施しているのか。せっかく習っているのだから、それを生かすことが必要であると思う。	特に検討は必要ないものと考えられる。	基本的にローマ字は小学校4年生で教えられ、その後はローマ字入力となっている。	
「5事業の成果」欄にホームページを開設している学校数が掲載されているが、ホームページの開設には専門的な支援が必要と考える。	今後、必要に応じ、反映できるように努める。	ホームページ開設が目的ではなく、評価の対象とはならない。今後、学校の要請により必要な支援を行う。	